

1学期中間考査終了。からの…

振り返り→反省（改善点のチェック）→計画の立て直し→実行

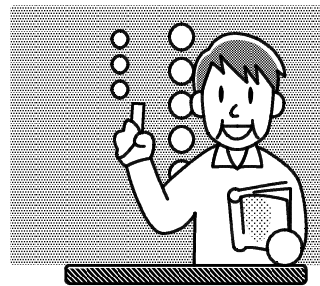
今年度初の定期テストである一学期中間考査が終了しました。出来はどうでしたか？まだ全科目返ってきてないと思いますが、手応えは？今回のテストが成績に反映するテストであることは伝えましたが、まだ定期テストは4回あります（3年生は後3回）。だから、今回の点数で学年の成績が決まるわけではありません。大事なのは、今回の定期テストに向けての準備、計画、取組、結果を振り返って「反省点」「課題」あぶり出し、次回に生かすこと。「範囲が終わらなかった」「前日にやっただけ（だから知識として自分の身になっていない）」「もっと早く始めないとダメだとわかった」…そういった課題を次回の期末テストに向けてどう改善させるか、そしてどうステップアップさせるかを考えて実行に移すんだ。毎回同じ失敗を繰り返すのか、失敗を活かせるのか、ここが大きな分岐点となります。「失敗は成功のマザー」です。



課外補習 補習の心構え — 何の「補」？ —

2,3年生は朝の課外補習（3年生は放課後課外も）が始まっています。1年生の朝課外も来週あたりから始まります。「課外補習」の位置づけについて確認しておきましょう。

補習は「補」習です。何の「補」なのか？そうです。「授業」です。授業のプラスαが課外補習に位置付けられます。授業をしっかりと受けてこそ効果のある補習なわけです。前女では前女生の真の学力（具体的に言えば、受験学力）を身に付けさせるために、「授業を軸」に補習を行います。だから、まずは授業をしっかりと受ける、これが大前提であり、授業をしっかりと受けていない人が補習を受けても効果は上がりません。だから、課外補習が自分の学習のどこに位置づけられるのか、それを認識した上で参加し、取り組んでください。そして、この考え方は「塾」にも当てはまるよね。「不安だから」「みんなが行っているから」なんとなく塾に行っただけ、塾も授業も中途半端で、お金と時間をかけたほど学力が身に付いていない…なんていう人は、「塾」が自分の学習のどこに位置付いているのか考えてみよう。



授業の上に補習がのってくる

補習

授業

「前のめり」で受ける！
そして、ただ受け身で参加しても学力は身に付きません。朝課外にとりあえず申し込んだけど、ウトウトしながら課外補習を受けていてはダメだよ。

朝課外にとりあえず申し込んだけど、ウトウトしながら課外補習を受けていてはダメだよ。

朝から臨戦態勢で臨み、席も当然前で受け、「参加している誰よりも理解してやろう」という「前のめり」の気持ちで受けなさい。

1年生 5/20学年集会の進路講話を受けて

進路指導主事から「勉強・進路のこと。」と題して、学力という特性を伸ばすために勉強を頑張る、スマホ時間に対する警告、文理選択の3点について話がありました。まとめると、

1 前女で勉強をやる意味、勉強を頑張ろう

- 初めての定期考査で順位がつくが、県や全国に目を向けた時やはりみんなの武器になるのは学力であろうから、自分の潜在能力を信じて、自分の将来の可能性を広げるために、地に足をつけて、堂々と勉強を頑張らなさい。「余裕の笑み」じゃぞ、エレガントに。
- 高校の勉強が不安なのは、中学と比べて膨大な「量」と速い「進度」。でも、同じ能力で環境で過ごした先輩達はこれをこなしていった。だから、みんなは「大学に行くってことはこのくらいやるってことね」という腹のくくりが大事。それがあたりまえなんだという意識に早く切り替えられて、その量と進度をどうこなしていくかの工夫を考えていくことも大事なポイント。
- 自分なりの「学習方法」を探し出す！「学習習慣」を確立させる！

2 スマホ時間

- 例年（学習時間調査）と比べて、みんなはスマホ時間が多い。黄色信号。「依存」になる前に対策を考えること。
- 学年のスタンダードがどこになるかというのはとても重要。学習時間、スマホ時間、勉強に向かう姿勢、これらのスタンダードが甘くなると、3年後の結果は厳しいものとなる。学年のスタンダードを上げることを各自が意識する。
- スマホやゲームも楽しいからやってしまう。同様に、勉強・将来のこと・学校が意味あるもの、楽しいことになっていけばそこに関心が向くようになる。「慣性の法則」を利用して、「勉強・進路」に興味を持っていくように自分自身を仕向ける。

3 文理選択

- 進路選択には「やりたいこと・夢」「学力（能力）」「適性・性格」「場所」など色々な要素からおこなわれる。
- 「安易な文理選択」にならないように、6月～夏休み～秋にかけて職業や自分の適性を知ること、間違いの確率が減る選択ができる。特に多くの職業、学問を調べよう。
- 学力を伸ばしていくことは、将来の選択肢を広げる、可能性を広げる。

1,2年生 科目選択説明会を受けて

1年生は将来の職業、やりたい学問をいっぱい考える

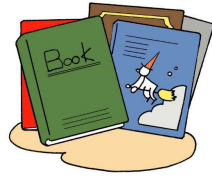
2年生は大学・学部を考え、そこから受験科目を調べるきっかけに

1,2年生とも考査最終日 5/25(水)に科目選択説明会がおこなわれました。早くも次年の授業選択を考えなければなりません。とはいえ、最終決定は秋。大事なことは、この説明会をきっかけに、6月～夏休み～秋と自分の進路について調べ、そして学力を着実に身に付け、将来の自分自身の選択肢を広げるのです。「ここから、今度はみんなが進撃する番です」

1年生 | 1年生の時にやっておくべきこと 受験を経験した先輩の声を聞け

卒業した前女の先輩達に聞きました。「学習面において、1年生の時にやっておけば良かったこと・実際にやっておいて良かったこと」。

考査も終わって、課題が見つかったり、もっともっと勉強ができるようになりたい！と気持ちを新たにした1年生、必読！



英単語は1年生からコツコツやっておくべき！3年生になった時、社会の暗記が重くなるので…。単語のアプリ使うと発音も聴けてオススメです。

部活が忙しい時は、授業でちゃんとノート取って、テスト前に復習すれば十分だと思います。私は提出課題をテストの2、3日前に終わらせてその後は暗記とノートの見直しに使ってました。数学は得意な友達に聞くのが早いです。1年生は教科書が一番大事です。

1年生の時から定期テストで頑張れば、(もし点数悪くても)3年の夏まで部活やっても間に合います。1年生はそんなに焦らずに楽しい覚え方を探すくらいの気持ちでやると集中できるかなって思います！(H29卒・東京学芸大学 教育学部)

まず言えるのは、高3時の受験を考えると、1年生のときからコツコツ勉強して来ている人が、やっぱり受かります。切実です。最後はほんとに、それを感じました。

高校に入って勉強のやり方が分からなくなることもあると思いますが(私の場合は英単語)、勉強方法がわからなかったら、先生に積極的に聞けるくらい、勉強頑張ろうという意識を持って欲しい！！

大学のオープンキャンパスに夏休みや休日を使ってどんどん行くべき。私は部活の休みが少なかったから、2年生の時に行きたい大学にあまり行けなかった。1年生はまだ行きたい大学や学びたい学問が分からない人ばかりだと思うから(特に文系)、旧帝大・一橋・筑波・千葉あたりに行ってみるといいと思う。正直1年生の段階で志望校を決める意味は、自分が勉強頑張るためなので、素敵だと思うテンション上がる大学を目指すといいと思う。

私は1年生の一学期中間考査では、80位くらいで、「私、前女にしてはいい感じじゃん！」とか思ってたけど、正直大して勉強してなかったし、テスト前しかやってなかったから、そこからはどんどん下がった。自分の中で順位の基準が分からなくて、何位でも焦らなかったし闘争心もなかった。でも自分の中で高い順位の目標を決めて、悔しいという気持ちで勉強に臨むと伸びると思う。男子校はもっとライバル意識を強くやってるから、外で勉強しに行くと、刺激を得られる。(H29卒・筑波大学 社会・国際学群社会学類)

1年生の時は授業で教わったことを確実に身につけていくことが大切だと思います。私の場合、世界史や英単語をテスト前日に詰め込んで、テストが終わったら忘れるというような勉強をしてしまっていました。受験勉強を始めてから、1年生の勉強を復習をしなければならなかったのが大変でした。

やっておいて良かったと思うのは「英検」です。英検を取っておくと、英語の試験が免除される大学がたくさんあります。指定の級には届かなくても、1年生のうちから形式に慣れておくとかかなり有利になると思います。

また、志望校を調べておくことも大切だと思います。少しでも興味のある大学があれば、

試験科目を把握しておくといいと思います。志望校を決めておくことは、勉強へのモチベーションに繋がります。受験勉強が終わったばかりで、勉強する気分になれないかもしれませんが、今からコツコツ始めることが、成功の力ギだだと思います。頑張ってください！(H29卒・早稲田大学 国際教養学部)

○1年生のうちにやっておくべきこと

①学校生活に慣れてくると、気持ちがダラけてしまって、細かいことをすぐ捨てがちになるので、些細なことでもしっかりこなす。

・毎週ある単語小テスト ・古文の文法小テスト ・各教科の課題などなど…

「成績に入らないからいいや」とか「次の考査の範囲じゃないからいいや」を繰り返してやらずに溜めると2年生、受験生になってから自分が苦勞する。1年生のうちは部活や諸活動にも全力で打ち込んだ者勝ちだと思うので、全力で打ち込むためにも最低でも前女の先生が出す課題やテストは真剣に取り組むといいと思う。

②自分の勉強の習慣や仕方を見直す

私は実際に2年の体育祭終わりにこれをやったのだが、今考えてもこれをやってよかったと思っている。

だんだん勉強が不安になってくる人もいると思う。そこで塾等にすぐ入ろうと思ってしまいがちだが、一回自分で自分の勉強を振り返ってみてほしい。「課題はこれ以上できないってほどにきちんとやっているのか」「考査の範囲のページがボロボロになるほど勉強しているか」など今の状況で改善できるところがどのくらいあるかを振り返る。「振り返り、改善する努力」が大切だと思う。やれるだけのことをやって、それでも勉強が不安なのであれば新しい何かを追加してもいいと思う。

一番気をつけてほしいのは、学校の課題をきちんとこなせていないのに新しい何かを取り入れること。本末転倒になってしまうので、これは絶対にしない方がいい。

(H29卒・千葉大学 教育学部)

○1年の時にこれをやっておけば良かった(やっておいて良かった)

→部活と勉強のメリハリをしっかりとつけた

→毎日の授業を大切にす

→自分に合った睡眠時間を見つける(授業中に眠くならないように)

→生活時間を決める(何時に寝て何時に起きるか、いつ勉強をするか、等)

これらはすごく大事！！私が意識し始めたのが2年生だったので、もっと早いうちから気づけていれば良かったと思います！！

○1年の時の英語

→文法を完璧にして、声に出して沢山教科書を読んでテスト対策をした。

○1年の時の数学

→センターでも1年の数学は大きな部分を占めるので、きちんとやっておくべき。具体的には、授業ですべて吸収し(インプット)、家で学校の問題集をやり込む(アウトプット)の流れを大切にす。(H29卒・東北大学 農学部)

※去年も掲載した復刻版です。